

Re-Con Zero MaxiパートB

残コン一体型回収のための粉体製品

説明

Re-Con Zero MaxiパートBは、Re-Con Zero MaxiパートAと一緒に使用する粉末状の製品であり、環境への影響を最小限にするために、残コン(戻りコン)を一体的に回収するための製品です。

用途

コンクリートバッチプラントから出てくるあらゆる種類の残コン(「Spritz Beton」用のコンクリートを含む)を、作業現場の終わりや一日の終わりに全量回収するために使用します。

技術的特性

Re-Con Zero MaxiパートBは、マペイ社の研究所で開発された処方による特殊な加速性のある無機塩の混合物をベースにした粉末製品で、短時間で残コンを還元できます。

Re-Con Zero MaxiパートBで、残コンを骨材に変え、適切な養生を行うと、以下の目的で使用できます。

- ・通常のコンクリートを作る際に一部の代替品として使用する。
- ・天然骨材の完全な代替品として、貧配合コンクリート、サブベース、コンクリートミックスなどの製造に使用する。

Re-Con Zero MaxiパートBでコンクリートを処理すると、混合物が完全に回収されるため、微粉末を含んだ洗浄水などの処理廃棄物が発生しません。

使用方法

Re-Con Zero MaxiパートBとRe-Con Zero MaxiパートAは、

現場の状況や使用する原材料(セメントの種類、骨材の種類など)によって使い分けられます。

Re-Con Zero MaxiパートBとRe-Con Zero MaxiパートAを使用するには、乾燥して、十分に分割された材料が得られるまで、レンダリングされたコンクリートと混和剤を混合する適切な機械的処理システムが必要です。正しい手順を選択するには、マペイ社のテクニカルサポートと合意した上で予備テストを行う必要があります。レンダリングされたコンクリートのコンシステンシークラスはS4を越えないことが望ましいです。

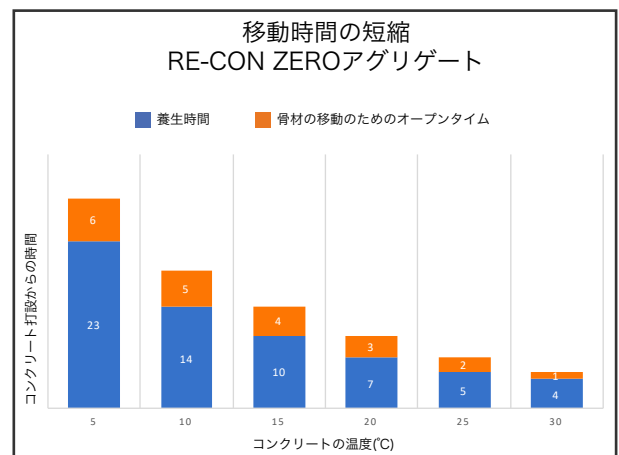


図1 周囲の温度による最適な処理時間の推移
例：温度が+20°Cの場合、7~10時間の間に処理を行う必要があります。

技術データ(代表値)

製品情報

外観:	粉体
色:	白
高密度(g/cm ³):	1.1
塩化物(%):	≤ 0.1
主な作用:	凝集剤 - 吸水性

推奨

- ・ Re-Con Zero MaxiパートBとRe-Con Zero MaxiパートAのパッケージは、ポリエチレン製です。開封後は、水や濡れた機器に直接触れないようにして、乾燥した風通しの良い場所に保管してください。
- ・ 処理物の取り扱い、図1の表に示された時間内に、機械ショベル(または他の適切な手段)を用いて行う必要があります。

使用量

処理するコンクリート1立方メートルに対して、Re-Con Zero MaxiパートBを1.5 kg、Re-Con Zero MaxiパートAを0.5 kg投与します。

推奨される投与量は、現場での具体的なテストを実施後、マペイ社の技術者の援助を受けて最適化することができます。

梱包

Re-Con Zero MaxiパートBは20kg袋入りで、Re-Con Zero MaxiパートAと3:1の比率を保ちながら、標準的な使用条件で最大40立方メートルの残コンを処理できます。

保管

24ヶ月間、乾燥した場所で未開封のまま保管する。準備と用途に関する安全指示
製品を安全に使用するための指示は、最新版の安全データシートに記載されています。データシートは当社のウェブサイト(www.mapei.com)から入手できます。
業務用製品

健康と安全に関する情報

安全な運搬、作業、保管、廃棄を行うために、物質、環境、毒性、その他の安全に関する情報の記載されている製品安全データシート(MSDS)の最新版を見る。ご要望に応じ提供する。商品の使用上発生する障害については使用者の責任となる。
当社のウェブサイトから入手できるテクニカルデータシートの現在のバージョンを参照してください www.mapei.com

**製品に関連するすべての情報は、
リクエストに応じて
www.mapei.comから入手できます。**



連絡先:

(有) 長岡生コンクリート
【NR-MIX東京Office】

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-3-5 野村ビル3F
Tel: 03-5577-6102 - Fax: 03-3219-6343
mail: nagaoka-rmc@yr.tnc.ne.jp

(有) 長岡生コンクリート
〒410-2211 静岡県伊豆の国市長岡781
Tel: 055-947-0049 - Fax: 055-947-0052
mail: nagaoka-rmc@yr.tnc.ne.jp



BUILDING THE FUTURE